

第3回 広域ごみ・汚泥処理施設整備検討委員会まとめ（要点筆記）

《開催日》 平成22年2月26日（金） 午前9時30分から  
《場 所》 豊岡市立図書館 視聴覚室  
《出席者》 委 員：市川陽一、本庄四郎、松永正博、筑本壽晴、  
宇都出敏文、池田登志、山村紀久子、  
尾崎美津人、梅林耕一、垣江重人（敬称略）  
組 合：事務局長 他 7名 合計18名

《内 容》 委員会次第

- 1．開会
- 2．報告事項  
    先進地視察研修について  
    施設整備のスケジュールについて
- 3．現地視察・・・市内視察
- 4．その他  
    次回の開催日について
- 5．閉会

## 【質問・意見等】

### 先進地視察研修について

- Q：ささゆりクリーンパークの遊林の森の一般利用者の状況はどのようなものだったか。
- A：バードウォッチングやエビネの観賞等で利用されているとのこと。
- Q：財源や人員関係で問題等があったか。
- A：利用料等で経費は賄えていない。PRを目的とした施設であった。
- Q：施設の管理は市か民営のどちらで行っていたか。
- A：指定管理者やシルバー人材センターに委託していた。
- Q：地元で何か管理組織のようなものはあったのか。
- A：今回の視察先ではなかった。他の施設では、そういった事例はある。

### 施設整備のスケジュールについて

- Q：用地が確保できる見込みはあるのか。
- A：28年度稼働に向けて、精一杯努力していく。
- Q：37haのうち、どの程度の面積が理解を得られていないのか。
- A：全体の7パーセント程度の面積について理解が得られていない。  
(その他意見等)  
委員会としては、用地確保はできるものとして利用等について考えていかなければいけない。

### (その他質疑等)

- Q：動植物調査について、全体的にまだ多くの種類が存在すると思われるが、手直しはするのか。
- A：生活環境影響調査は、全種を探ることが目的ではない。限られた期間内での調査である。
- Q：希少種や重要種が途中で発見された場合はどうするのか。
- A：この委員会でも、措置の仕方について議論していただいても良い。  
環境的な代替措置を考えていただきたい。
- Q：今後、動植物についてモニタリングはしないのか。
- A：検討され意見がでてくれば、モニタリングも可能である。

施設ができた後も希少種などの動植物が共生できる施設整備を行なうため、環境に対する施策に取り組むことにより環境に配慮した施設として実現する意義がある。